

2023年3月のでがたんは申し込み制にて実施しました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回4月のでがたんは4月8日(土)で、テーマは「サクラに集まる生きもの」です。ぜひご参加ください。4月1日(土)から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみなさま、次回の下見は4月2日(日)です。

## 3月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→けやき広場→旧水生植物園の手前→けやき広場
- 観察日時と天気：2023年3月11日(土) 10:00~11:00 晴
- 参加人数：12名(大人11名、中学生以下1名)
- 市民スタッフ：6名(北村章子・石原直子・伊東茂子・木村 稔・小泉伸夫・湯瀬一栄)
- 博物館友の会：1名(古澤紀元) ●鳥博職員：1名(小田谷嘉弥)

## 観察した生き物の記録

【\*】は、下見だけで見られたもの。

### 【鳥類】

キジ科：キジ(声のみ)／カモ科：ヨシガモ、マガモ\*、カルガモ、コガモ／カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ／ハト科：キジバト／ウ科：カワウ／サギ科：アカガシラサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ／クイナ科：クイナ(声のみ)、オオバン／シギ科：タシギ／カモメ科：カモメ／ミサゴ科：ミサゴ／タカ科：トビ、オオタカ\*／カワセミ科：カワセミ／モズ科：モズ／カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／ウグイス科：ウグイス／ムクドリ科：ムクドリ／ヒタキ科：アカハラ、ツグミ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ／アトリ科：カワラヒワ、シメ(声のみ)／ホオジロ科：ホオジロ、アオジ、オオジュリン  
家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

### 【哺乳類】

イタチ(足跡)\*

### 【魚類】

コイ

### 【甲殻類】

ヌマエビ(カワセミに捕食されていたもの)

### 【昆虫】

チョウ目：モンシロチョウ、キタキチョウ、キタテハ／コウチュウ目：ナナホシテントウ／カメムシ目：ヨコヅナサシガメ、ミツボシツチカメムシ、アブラムシの仲間／ハエ目：ハナアブの仲間、ヒラタアブの仲間、ユスリカの仲間

### 【花・実】

草の花 キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、ノボロギク、ウラジロチチコグサ／シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ／アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ、セイヨウカラシナ／オオバコ科：オオイヌノフグリ／ナデシコ科：オランダミミナグサ、コハコベ／ハエドクソウ科：ムラサキサギゴケ、トキワハゼ／キンポウゲ科：タガラシ／カタバミ科：カタバミ／マメ科：ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)／トクサ科：スギナ(ツクシ)

木の花 バラ科：オカメザクラ、カワツザクラ、ウメ、ユキヤナギ／モクレン科：コブシ／ヤナギ科：シダレヤナギ／ツバキ科：ヤブツバキ

# 3月の観察アルバム



今回のテーマは「ものまねチャンピオン・モズ」でした。てがたんコースになわばりを構えている3個体の雄の鳴きまねや、雌への求愛給餌など、この時期らしい繁殖行動をじっくり観察できました。



今月の案内人  
小田谷嘉弥・北村章子



①土手から伸びていたツクシ



②ヌマエビを捕食していたカワセミ



③羽化したばかりのナナホシテントウ



④ヒバリやコヨシキリなど、6種の鳥の鳴きまねをしていたモズの雄



## 歩いたルートと観察した生き物



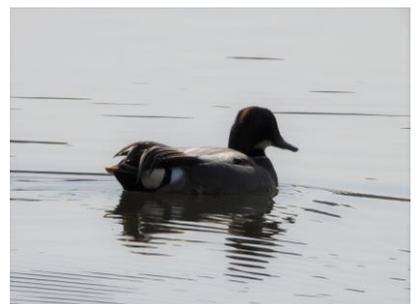
⑤アオジやコムドリなど5種の鳴きまねをしていたモズの雄



⑥一面に咲いていたホトケノザ



⑦2羽で並んで止まるモズのつがい



⑧手賀沼では数少ないヨシガモの雄

## 今月の鳥 モズ (スズメ目モズ科)

モズは長い尾やかぎ状に曲がった嘴が特徴的な小鳥です。スズメ目の鳥には珍しく肉食性で、昆虫やミズなどに加え、小鳥や小型の哺乳類を捕食することもあります。手賀沼周辺では3月から5月に、沼沿いの開けた林や里山の環境で繁殖します。モズは、他の多くの小鳥とは異なり、種独自のさえずりを持ちません。代わりに、雄は小声で他の鳥の鳴きまねをし、雌に求愛します。この鳴きまねは2月から3月にかけて良く聞かれ、次々といろいろな種類の鳥の鳴きまねをすることもできます。早口で歌うことができる雄ほど、雌と早くつがいになれることが、最近明らかになっています。この時期に聞きなれない鳥の声が聞こえたら、モズの姿を探してみましょう。



他種のをまねするモズの雄